新潟県立学校で行われている未然防止の取り組み例（県教育委員会調べ）

(1) 生徒会等が中心となり行っている生徒主体の取組
- 生徒会長による「いじめの無い学校づくり」宣言
- 生徒によるＳＮＳ使用についてのルールづくり
- いじめ防止ポスター、スローガン、標語の作成
- いじめについてディスカッションを実施

(2) 校外から講師を招き行っている講演会等
- 人権教育に関する講演会
- スクールロイヤーによるいじめに関する講演会
- 「性的マイノリティ」に関する講演会
- 情報モラルに関する講演会（警察、プロバイダ、ｅネットキャラバン　等）

(3) 学校行事で行っている取組
- 体育祭でリーダーを中心とする集団づくり、人間関係づくり
- 文化祭等における地域と交流する活動

(4) ホームルーム活動等で行っている取組
- 年度初めの人間関係作りを促す取組
  （構成的グループエンカウンター、ピア・サポートトレーニング、
  アサーショントレーニング、ソーシャルスキルトレーニング等）
- ＵＤＬ（学びのユニバーサルデザイン）
- ストレスマネジメント

※　ＳＥＬ（Social & Emotional Learning）社会性と情動の学習と呼ばれる教育プログラム　【令和６年度　高等学校等生徒指導連絡協議会で紹介】

(5) 総合的な探究の時間を活用した取組
- 校種を越え中学校と連携した授業を実施

※ 上記は、いじめ対策総点検時の「自校体制チェックシート」に記載されていた取組や、学校訪問時に確認した内容となります。
その他、以下のサイトもご覧いただき各校における取組の参考としてください。
- 文部科学省　平成 30 年１月 19 日　「いじめ防止対策に係る事例集（案）」
- 各都道府県の未然防止の取り組み事例（インターネット検索）

（令和６年度いじめ対策総点検終了後に更新）